



AIR断震 倶楽部通信 26

世界初！空気ので家を浮かす！
揺れない家が家族を守る



「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者とお刺し交換させていただいた方々に配信しております。

※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

エア断震システム搭載の新モデルハウス 埼玉県熊谷市に「緑風の家2.0」が登場！

「緑風の家2.0」を開発したのは、弊社エア断震システムの代理店でもある、埼玉県熊谷市の株式会社松本材木店様です。同社は1925年創業の歴史ある建築会社ですが、「日本一暑い！」と言われている熊谷市でも、エアコンに頼らず快適に過ごせる家として「緑風の家」を2009年に発表。そして、今年の3月13日に、更にバージョンアップさせた「緑風の家2.0」のモデルハウスをオープンしました。



新しいモデルハウスのキャッチフレーズは「災害にも強い 緑風の家2.0」で、エア断震システムによる地震対策だけでなく、水災、断水、停電などのインフラ災害対策、酷暑、感染症などの対策を考慮した災害時にも安心して過ごせる家になっています。



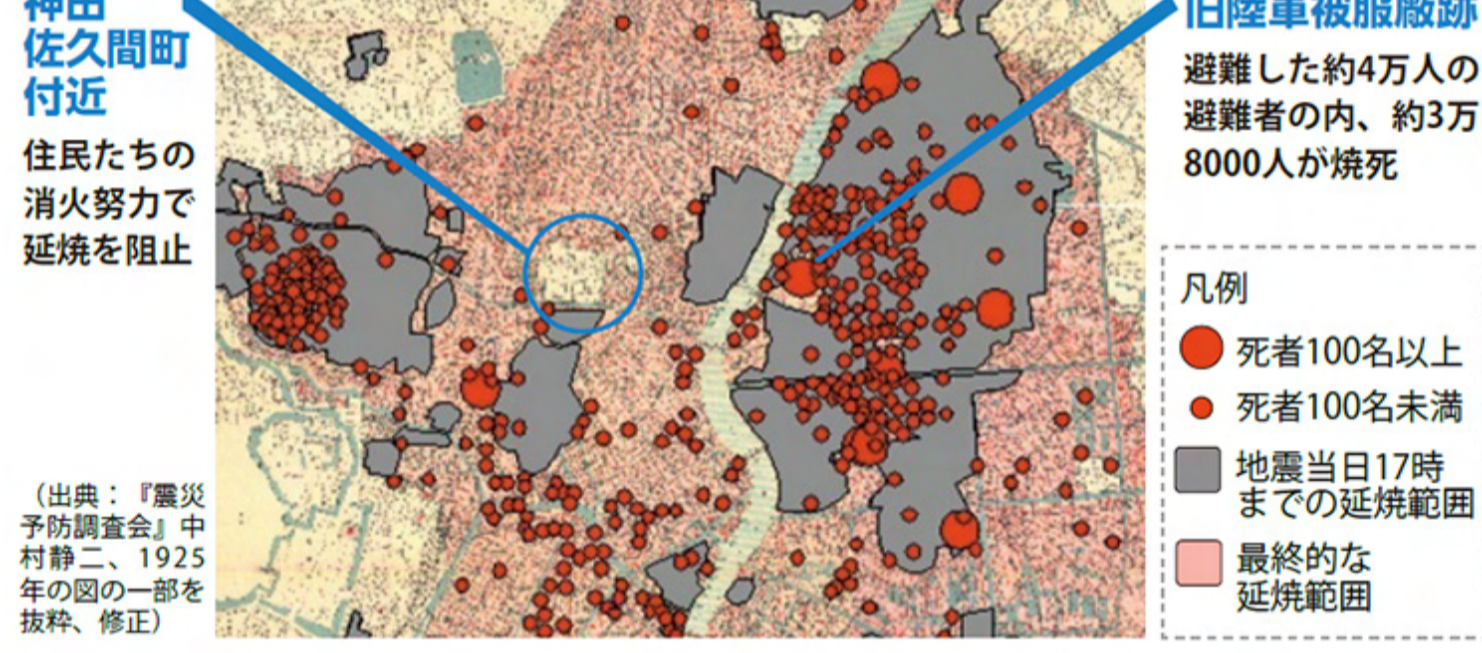
松本材木店様のHP →

<https://www.e-house.co.jp/matsumoto-zaimokuten/>

関東大震災による被害者10万人超の死因の約9割弱が火災 秋葉原付近では地域ぐるみの消火活動で延焼を阻止



1923年9月1日午前11時58分に発生した関東大震災による約10万3000人の死者のうち、火災による死者が約9万2000人という大きな悲劇でした。

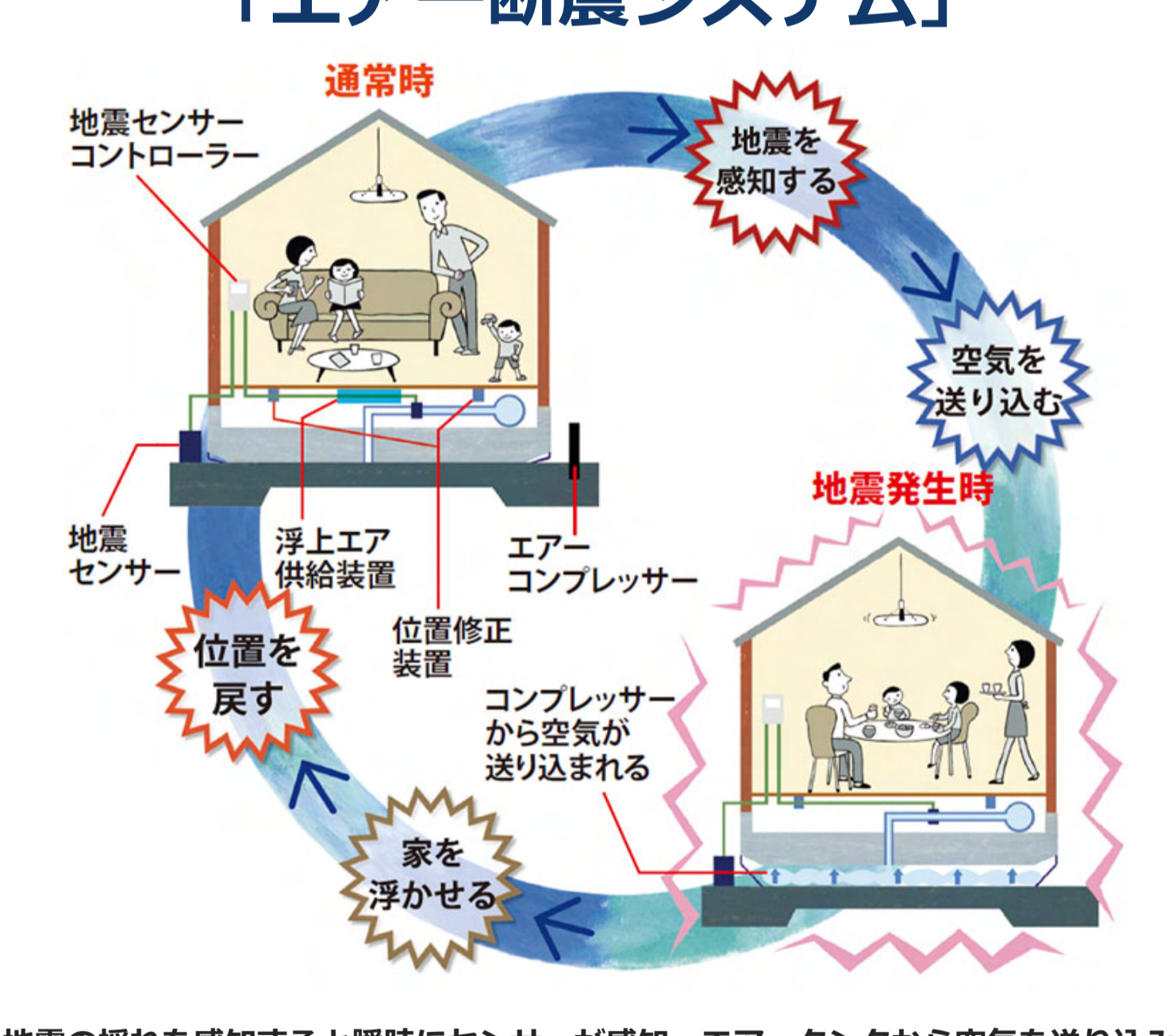


図は東京の北東部の火災による被害状況を表したものです。
図の中央部の大きな赤丸が避難所に指定されていた「旧陸軍被服廠跡」（現在の東京都立横網公園）で、ここでは家財を持って避難した約4万人の避難者の内、約3万8000人が四方からの炎に囲まれて焼死しました。
しかし、図の左側、ほぼ四角形に色が抜けて見える地域（秋葉原に近い神田佐久間町と神田和泉町付近）では、住民たちの必死の消火努力もあり、延焼を阻止することができたのです。この地域にある千代田区立和泉公園には「防火守護地」の石碑がありますが、ここと、大きな悲劇の地である旧陸軍被服廠跡とは、直線距離で2km弱でしかありません。神田佐久間町、神田和泉町では、どのようにして火災を食い止めることができたのでしょうか。

続きはHPで →

詳しくはHPへ →

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！ 「エア断震システム」



地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが感知。エアータンクから空気を送り込み、家を宙に浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。震度7の揺れを約1/30に軽減することができます。

「エア断震システム」について
詳しく知りたい方はこちら →

詳しくはコチラ →

「AIR断震倶楽部通信」
バックナンバーはこちらから →

詳しくはコチラ →

「エア断震システム」の詳しい
資料請求はこちらまで →

詳しくはコチラ →

「エア断震システム」の効果を
体感してみませんか。
関東に4カ所体験できる展示場があります。

詳しくはコチラ →

大臣認定取得
2019年4月3日国土交通大臣認定を
取得しました。

詳しくはコチラ →

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》
株式会社 三誠AIR断震システム
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階
TEL: 03-3551-0272 FAX: 03-3551-0273
info@airdanshin.co.jp <https://airdanshin.co.jp>

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら